



令和4年12月23日（金）
幼保連携型認定こども園 津田このみ学園 今在家分園

うさぎぐみだより 12月号

吹き抜ける風の冷たさに本格的な冬の訪れを感じる時期になりました。色とりどりのクリスマスの飾りであふれている園内では『あわてんぼうのサンタクロース』や『赤鼻のトナカイ』を歌う子どもたちの声が響いています。



“いっしょ”っていいね！

子ども達は、語彙数が増え保育者や友達との言葉のやり取りができるようになり、自分が体験したことや見たこと、聞いたことを再現して遊んでいます。先日、子ども達が病院のできことを再現していました。お医者さん役のAさんがおもちゃの聴診器を準備して、診察を始めました。「今日は、どうしたんですか？」と赤ちゃんの人形に聴診器を当てようとすると、Bさんが赤ちゃんの服をめくって「お腹が痛いっ



て言うんです。」と心配そうな表情で答えていました。お医者さんが「お腹に効くお薬だしときますね。ご飯のあとに飲んでください。」と伝えるとお母さんが赤ちゃんの服を整え、抱っこして「ありがとうございました。」と言って帰ってきました。それぞれの役になりきって、自分たちが聞いた言葉を使ってやり取りして遊んでいます。

年明けに子どもたちが元気に登園してくれることを心待ちにしています。
本年も、保護者の皆様にはたくさんのご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願い致します。